



ひかりの都

リハビリテーション西播磨病院だより

発行・編集

兵庫県社会福祉事業団

リハビリテーションセンター西播磨病院

〒679-5165

兵庫県たつの市新宮町光都1丁目7番1号

TEL (0791) 58-1050

FAX (0791) 58-1071

『新年を迎えて』

リハビリテーション西播磨病院 院長 横山 和正

明けましておめでとうございます。

西播磨病院が診療開始してから3回目のお正月を迎えました。リハビリテーション専門病院として、西播磨在住の方々を中心に入院、外来ともに利用者が順調に増え、地域とともに成長する病院という当院の目指す方向が少し実感できるようになりました。国の医療費抑制の厳しい現状ではありますが、当院は県立施設としての役割を発揮するために、単に残った障害に対応する受け身の診療ではなく、積極的に症状の改善や機能回復を図る新たな治療手段を模索しております。理学療法、作業療法、言語聴覚療法に加え、音楽や園芸をリハビリプログラムに組み込み、患者さんには好評で治療効果も検証中です。当院には、脳卒中、神経難病、脊髄損傷、リウマチ、整形外科手術後の患者さんが入院されていますが、

今後も、精神や身体の治療困難な病状に対して地域での充実した生活が再び実現するように治療を展開していきたいと考えています。また、爆発的に増えている認知症に対して専門医による診療を行っており、今後予想される治療の進歩に対応するべく、早期診断と早期治療を可能にする診療体制の構築を目指します。

医療費の抑制、医師や看護師不足など、多くの不透明な暗雲が立ちこめる平成二十一年が始まりました。当院職員はチーム一枚岩となつて本年も地域とともに歩みますので、ご支援をお願いいたします。なお、ご意見や要望があれば、ホームページの電子メールやご意見箱などを通じてご連絡なくお申し出ください。それでは、皆様にとって本年が良いお年であることを祈念します。

平成19年度 外来患者様アンケート調査結果

前回の入院患者様アンケート調査結果に引き続き、今回は外来患者様アンケート調査結果をご報告致します。ご協力いただきました患者様には、この場をお借りしまして、心から御礼申し上げます。

アンケート調査は、平成20年3月、65名の外来患者様にご協力いただき、実施致しました。

図1の患者様への支援と説明に関して問題ありとお答えの方は、全体の15%を占めていましたが、その主なご意見には、薬の服用方法、効き目、副作用に関する説明、病気の種類や特徴、現在の病状についての説明、診断及び治療の手順や内容についての説明、検査や治療日についての説明、検査結果や訓練についての説明、要望に対する迅速な対応などがありました。

図2の職員の接遇態度に関して問題ありとお答えの方は、全体の8%を占めていましたが、その主なご意見には、励ましやいたわり、暖かみのある態度、

氏名が確認できないなどがありました。

図3の受付時や会計時の説明に関して問題ありとお答えの方は、全体の5%を占めていましたが、その主なご意見には、会計時の医療費や次回診療予約の説明などがありました。

図4の受付時や会計時の接遇態度に関して問題ありとお答えの方は、全体の4%を占めていましたが、その主なご意見には、氏名が確認できない、身だしなみなどがありました。

図5の病院に関する情報について問題ありとお答えの方は、全体の16%を占めていましたが、その主なご意見には、場所、診療科目、診察日時、病院機能が分かりにくいなどがありました。

図6の診療日及び診療時間の設定に関して問題ありとお答えの方は最も多く、全体の25%を占めていましたが、その主なご意見には、診察日をもう少し増やしてほしい、医師、看護師の少ない日時があるなどがありました。

このほか、自由回答では、外来待ち時間の短縮、診療科や診療日数の充実などに関するご意見なども多数お寄せいただきました。

当院といたしましては、この度の貴重なご意見を真摯に受け止め、職場内研修やあったかサポート実践運動(職員の相互啓発事業)などを推進するとともに、病状等の十分な説明や待ち時間の短縮などに取り組み、患者様

本位のサービスの向上に努めたいと考えております。

リハビリテーション西播磨病院
患者サービス向上推進委員会

図-1 患者様への支援と説明

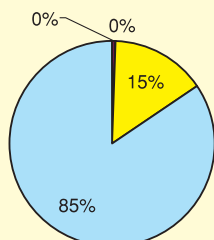


図-2 職員の接遇態度

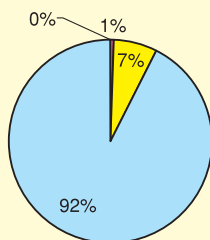


図-3 受付時や会計時の説明

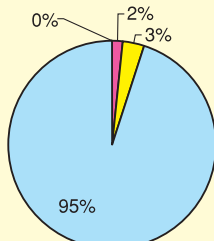


図-4 受付時や会計時の接遇態度

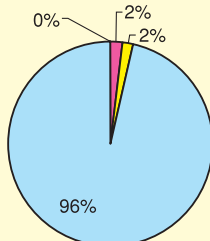


図-5 病院に関する情報について

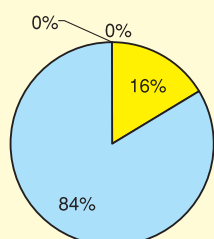
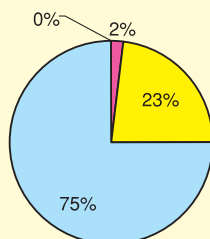


図-6 診療日及び診療時間の設定



■ 1 非常に多くの問題を感じた
■ 2 多くの問題を感じた
■ 3 少し問題を感じた
■ 4 問題は感じなかった

食べ物が詰まった時の

対処方法

高齢者に多い「食べ物をのどに詰まらせる」事故を起さないための工夫と、詰まってしまった時の対処方法を考えてみたいと思います。

お年寄りは食べ物を口から食道を経て胃に送る機能が低下しています。そのため、ご飯やパン、餅などの粘りのある食べ物は噛み砕きにくく、大きな塊のまま喉に入って窒息してしまう事があります。

それでは、食べ物を喉に詰まらせないためには…?

- ・食べ物には食べやすい大きさにして、よく噛んで食べましょう。
- ・食べる前にはお茶や水分を十分に取り、喉を潤して、通りを良くしておきましょう。

・食事の間にも水やお茶を飲むなどして、常に喉のとおりを良くするように心がけましょう。

・食事の際、なるべく誰かがそばで見られるようにしましょう。

食べ物が詰まった時の対処方法



- (1) 一方の手で握りこぶしをつくりもう片方の手をその上にのせるようにして抱きかかえます。
- (2) 手によっておなかを圧迫し、横隔膜を押し上げます。それによって胸の中の圧力を高めて、気道をふさいでいる異物を取り出します。

※上記の対処方法で詰まった食べ物がとれない時は直に救急車(119番通報)を呼びましょう。



暖かく過す

冬のお勧め料理



寒い冬がやってきました。みなさんは冬の料理と言えは何を思い出しますか? やっぱ鍋でしょう。か? 鍋は栄養面からみても色々な食材が使われているので良い料理です。最近ではさまざまな新しい鍋料理も登場しているようです。新旧の鍋料理を少しご紹介してみよう。気になる鍋料理があればぜひお試しください。

● 蒸し鍋

野菜や肉や魚を蒸籠(せいろう)に並べ、蒸して加熱をするスタイルです。

この加熱方法は、余分な油を蒸して落とすためエネルギーが押さえられ、また、野菜のビタミン類がだし汁の中に溶け出してしまうことを防げるため、食材の旨味や成分をしつかりと閉じこめた料理方法といえます。味付けはしゃぶしゃぶのようにお好きな味でお召し上がりください。

● カレー鍋

味付けをカレーにすることで子供さんにも喜ばれる鍋になります。

具材も一般的な鍋の具にこだわらず、カレーに入れるような食材を使ってみるのもおもしろいでしょう。

● キムチ鍋

キムチで身体が芯からホカホカします。普通に豚肉を入れるのも良いですが、餃子、肉団子、海鮮、豆腐、はくさい・ニラ・もやしなど野菜類、中華麺、もちなど具を選ばなくても何でも合うのが良いところです。もちろんおじやにすることも出来ます。

● 豆乳鍋

成分無調整の豆乳を使うことがコツです。まずは、豆乳を温めて湯葉を味わいましょう。湯葉は大豆のたんぱく質です。とても良質なたんぱく質です。あとは味をつけ(味付けに自信のない方はめんつゆを使ってみてはいかがでしょうか?) 野菜など具を加えてたのしんでください。または、にがりを加えて寄せ豆腐もできます。できたての豆腐を家庭で味わえますよ。

寄せ鍋、かにすき、すき焼き、湯豆腐、水炊き…各家庭の様々な鍋であつたかく冬を乗り切りましょう。

新人スタッフ 便り

臨床検査技師
筏 美智

この度、縁あって昨年からの西播磨病院で働かせていただくことになりました。

実家はこの播磨科学公園都市を降りてすぐ近くなのですが、このような立派な病院施設があることに驚きました。

働き始めて三ヶ月が経ちましたが、仕事を覚えていく中で、この病院の環境の良さや機能の充実性を実感しています。

リハビリテーション病院ということもあり、特殊な疾患を持つておられる方や体が不自由な方に対する検査時の介助・接遇等、まだまだ慣れないこともあり戸惑いますが、リハビリを頑張っておられる患者様の姿や、当初の検査時に比べて回復されている患者様を見ると、こちらも元気をもらいます。

検査技師は患者様と接する機会も他職種に比べ少ないですが、患者様への気配りと精度良い検査を常に心掛け患者様の早期回復に役立てるように頑張っていきたいと思っています。

薬剤師
川崎 聡子

私は、昨年まで街にある調剤薬局で働いていて、今年の4月から西播磨病院の中の薬局で働き始めました。薬剤師としては今年で4年目になります。

私が病院で働きたいと思ったのは、いろいろな職種（お医者さん・看護師さんなど）の人が集まって、1人の患者さんに対してどう関わっていくのか？それぞれの専門性をどう生かしていくのか？

病院の中でどのように治療が行われていくのかを知りたかったから：簡単に言うところ『病院はどういうところだろう』と思ったからです。

働き始めて半年たちしましたが、病院の中で起こるさまざまなことから毎日勉強しています。最初は自分の部署の仕事の覚えることだけになっていましたが、やっと最近他の部署のスタッフと一緒に仕事をする機会が増えてきて、前よりいっそう仕事にやりがいと興味がでてきました。患者さんとも少しずつ入院中の服薬指導や外来で薬を渡すときに話をするようになり、覚えても覚えてくるととても嬉しいのです。これからもっと自分のスキルアップに励みつつ、顔の見える薬剤師として患者さんやスタッフとよりコミュニケーションを取れるよう努力をしますので、今後ともよろしくお願いします。

ふれあいリハフェスタ in 西播磨 開催報告

昨年、十月二十五日（土）、当センター屋外広場、研修交流センター、ふれあいスポーツ交流館において、地域の方々と約二千名の参加を得て、リハフェスタを開催しました。

屋外広場でのステージをはじめ、作業所、各種団体などからの出店、絵画、生花のワークショップ等様々なメニューを来場者の方々に楽しんでいただきました。

リハフェスタ開催の目的は、西播磨病院の入院患者様をはじめとしたセンタ利用者と地域住民との交流、センタリハビリテーションへの理解を深めることにあります。

今後とも地域の皆様のご協力を得ながら、地域から期待される事業として継続していきたいと考えております。



ロビーコンサート開催案内

今年も3月の中旬にロビーコンサートを開催します。

みんなで楽しい時間を過ごしましょう！

詳細は決まり次第、ご案内します。

お楽しみに！